

旭エ
オリンピック

土木科3連覇



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
佐々木 晃成
(電気科3年)

総合優勝を喜ぶ土木科の皆さん



江刺君から島君へバトンパス(土2)



リレー種目の距離が100m短縮されたことにより、土木科は学級対抗リレー2年と科別対抗スウェーデンリレーでこれまでの記録を塗り替えた。学級対抗リレー(100m×20人)では4分23秒88、科別対抗スウェーデンリレー(100m×2人、200m×2人、300m×2人)では2分42秒61を記録。学級対抗リレーで土木科2年は0・81秒縮め、科別対抗スウェーデンリレーで土木科は6・51秒縮めた。

学級対抗リレーでアンカーを務めた荻原魁大君(土2)は「クラスに運動部員が多く、皆全力で練習に取り組み、本番でも実力を発揮できたのが勝因」と感想を話した。

科別対抗スウェーデンリレーで第3走者を務めた伊藤奏音君(土3)は「バトンパスがうまくいった。一人ひとりの勝ちたいという気持ちが優勝につながった。大会記録として残るのはうれしい」と感想を語った。

リレーの距離100m短縮
学級対抗2年と科別で時短に

第27回旭エオリンピックが10月11日に旭川市花咲スポーツ公園陸上競技場で行なわれた。学科別総合優勝は土木科で3連覇した。2位は工業化学科、3位は建築科だった。

天候は曇りのち晴れでコンディションが良く、トラック競技13種目、フィールド競技9種目の全種目を実施できた。土木科3年H委員長の倉田温斗君は「3連覇できてうれしい。大会前から連覇するつもりでいた。選手や先生方のやる気に熱が入っていた。リレーに一番力を入れ、メンバーの編成をよく考えた。学級対抗リレーでは一人ひとりが頑張っていた。すべての学年が1位を取れたことが勝因だ。後輩たちにも4、5と連覇を続けてほしい」と語った。

役員全員で協力し、中間テスト前に準備を終わらせた。準備期間中は役員で役割分担をして業務効率を上げた。当日はそれぞれの種目の担当の先生に協力してもらい得点集計を行なった。うまく運営できなかったのが改善したい。来年はやり方が変わっているかもしれないが、新役員には頑張ってもらいたい。



あいさつをする山本君

反省点の改善を
前体育委員長
山本良太君(建2)

旭エオリンピック 結果一覧

	1位	2位	3位
総合	土木科	工業化学科	建築科
100m(男子)	工藤 颯太(電3) 12秒04	菊地 響(土2) 12秒26	伊藤 奏音(土3) 12秒38
100m(女子)	芹 真彩(建3) 16秒06	加藤 月宇星(化1) 16秒56	梶 笑羽(化3) 16秒61
200m(男子)	佐藤 佑樹(土2) 24秒95	植松 俊也(化2) 25秒14	越中 琉稀(化1) 26秒22
200m(女子)	天池 美生(建3) 36秒94	井上 莉来(化2) 37秒29	野崎 留菜(建3) 37秒64
400m	鵜飼 知也(建2) 56秒85	鈴木 玲央(化2) 59秒26	江口 温大(化2) 1分00秒52
800m	遠藤 颯汰(情2) 2分11秒86	小川 颯太(機3) 2分12秒01	居石 慧(機2) 2分17秒33
1500m	鈴木 広大(電1) 4分43秒43	村上 優馬(機3) 4分44秒33	坂本 琳久(化1) 4分51秒73
学級対抗リレー(1年)	土木科 4分31秒28	電子機械科 4分44秒16	工業化学科 4分45秒58
学級対抗リレー(2年)	土木科 4分23秒88	工業化学科 4分32秒07	建築科 4分32秒84
学級対抗リレー(3年)	土木科 4分26秒10	建築科 4分26秒30	電子機械科 4分28秒40
科別対抗スウェーデンリレー	土木科 2分42秒61	工業化学科 2分47秒58	電子機械科 2分49秒64
ソフトボール遠投(男子)	高本 蔵真(化1) 83m80cm	植田 隼平(土3) 83m30cm	横山 泰士(機1) 80m70cm
ソフトボール遠投(女子)	谷水 乃彩(建2) 37m75cm	藤井 菜葉(化1) 36m18cm	河野 真朋(土3) 35m05cm
円盤投げ	宇佐美 遥翔(建3) 33m10cm	帆刈 東吾(建2) 29m90cm	関根 遥翔(土2) 28m32cm
砲丸投げ	澁谷 龍斗(機3) 13m22cm	朝妻 寛太(土3) 11m45cm	鈴木 大稀(土2) 10m82cm
ジャベリックスロー	谷 藍衣(化1) 19m34cm	秋山 遙香(化1) 17m60cm	松田 藍奈(建2) 16m21cm
走り幅跳び(男子)	辻 大貴(建3) 5m28cm	小山 友佑(建3) 5m18cm	有澤 翔(機2) 4m90cm
走り幅跳び(女子)	芹 真彩(建3) 3m15cm	藤田 愛華(化3) 3m14cm	野崎 留菜(建3) 2m91cm
走り高跳び(男子)	小西 劉(化2) 1m65cm	宮本 徒夢(土2) 1m60cm	阿部 天空(化2) 1m55cm
走り高跳び(女子)	宮西 明莉(土3) 1m15cm	安芸 綺花(建1) 記録なし	なし
部対抗リレー(運動部)	バスケットボール部 1分44秒90	野球部 1分45秒01	バドミントン部 1分56秒84
部対抗リレー(文化部)	新聞局 1分54秒82	吹奏楽部 2分03秒23	図書局 2分10秒52

優勝者の喜びの声

- ◆100m男子 工藤颯太君(電3)
足の不安があったが、2連覇できて良かった。
- ◆100m女子 芹真彩さん(建3)
2年連続で優勝できてうれしかった。1週間前から坂道ダッシュをしていたのでその成果を発揮できた。
- ◆200m男子 佐藤佑樹君(土2)
優勝もでき、自己ベストを更新できたので良かった。
- ◆200m女子 天池美生さん(建3)
前半はペースを上げすぎてしまった。坂道ダッシュを頑張り、無事に2連覇できて良かった。
- ◆400m 鵜飼知也君(建2)
瞬発力を高める練習をたくさんしてきたので成果を出せた。声援を送ってくれたのがうれしかった。
- ◆800m 遠藤颯汰君(情2)
最初にスピードを出せ、ペースを落とさずに走れた。しゃべれるくらいの余裕で走れるように努力した。
- ◆1500m 鈴木広大君(電1)
後ろから3年生が来たが、ペースを落とさず1位を取れた。水泳で培った疲れてもペースを崩さない力を1500でも発揮できた。誰にも負ける気がしなかった。
- ◆学級対抗リレー(1年) 土木科
HR委員長 佐竹輝晟君(土1)
あまり練習できなかったが、一致団結して優勝することができた。
- ◆学級対抗リレー(2年) 土木科
アンカー 荻原魁大君(土2)
皆、最初から全力で走り、優勝することができた。
- ◆学級対抗リレー(3年) 土木科
HR委員長 倉田温斗君(土3)
勝てるか不安だったが、2年連続で1位を取れて良かった。
- ◆科別対抗スウェーデンリレー 土木科
第3走者 伊藤奏音君(土3)
バトンのつなぎがうまくいった。選手一人ひとりの勝ちたいという思いが優勝の要因だ。
- ◆ソフトボール遠投男子 高本蔵真君(化1)
野球をやめて身体がなまっていると思っていたから優勝できてうれしかった。自分を信じて全力を出したのが勝因。
- ◆ソフトボール遠投女子 谷水乃彩さん(建2)
優勝できていると思っていたのでとても驚いた。
- ◆円盤投げ 宇佐美遙翔君(建3)
勝ちたいという強い思いを円盤に込めて投げた。その心意気が優勝を導いたと思う。
- ◆砲丸投げ 澁谷龍斗君(機3)
柔道部として1位を取れてうれしい。
- ◆ジャベリックスロー 谷藍衣さん(化1)
17人もいる中で優勝できたので頑張って良かった。
- ◆走り幅跳び男子 辻大貴君(建3)
優勝できてとても気持ちいい。毎日公園の砂場で練習したかいがあった。
- ◆走り幅跳び女子 芹真彩さん(建3)
2位のひとと1cmの差で勝てた。クラスメイトにうまく跳ぶコツを教えてもらったので勝てたのが勝因。
- ◆走り高跳び男子 小西劉君(化2)
165cmも跳ぶことができてうれしかった。空を飛び勢いで跳んだ。
- ◆走り高跳び女子 宮西明莉さん(土3)
昨年と同じ記録だったのが悔しい。体育の授業で友達と協力して練習したので優勝できた。
- ◆部対抗リレー運動部 バスケットボール部
部長 鹿原挑夢君(化3)
部活動で走り込んだ成果が出せてうれしい。バスケットボール部の走り込みの成果を存分に発揮できてとても良かった。
- ◆部対抗リレー文化部 新聞局
アンカー 佐々木晃成君(電3)
今回は体力のある後輩も入部したので独走できた。新聞局の力を一つにできたのが優勝の要因だ。

部活対抗リレー

魅せるパフォーマンス 各部独特のバトンリレー

旭工オリンピックで行なわれた部活動対抗リレーは運動部と文化部に分かれ、各部活動を象徴する物をバトンとして走り、部独特のパフォーマンスを見せた。

卓球部は卓球部らしきを出した。織本颯太郎長(土一)は「今回は圧倒的に最下位だったために顧問の早坂宏之先生提案で玉突きをしながら走った。部員との絆を深められてとても良かった。」



ボールを高く打ちながら走る卓球部

「今回は圧倒的に最下位だったが、見てくれている人や自分たちも楽しむことができた。反省点は今回のように走るか、全力で走るかを決めなければならぬ点だ。決めるのに時間が取られたので、来年はすぐに決めたい。次回もおもしろおかしく楽しんでもらえらる。」



剣をバトンにする演劇部



リュックを背負って走る山岳部

ように考える」と語った。

山岳部は登山用の服を着て「メインザックス」というリュックをバトンにして走った。中

建築科 応援旗

気分が盛り上がる



旗を持って応援する建築科3年生

競技中、建築科2、3年生が応援旗を持って選手に声援を送っていた。この旗は工高祭の時に垂れ幕と一緒に作成しステージ発表で使用したものだ。建築科3年生に取材した。HR委員長の西條えれなさんは「皆の応援になり、士気があがった」と満足している。

100m女子で優勝した芹真彩さんは「皆の応援で気持ちよく走ることができた」と話し、学級対抗リレーで第1走者だった山口隆太君は「気分が盛り上がって走れ、第2走者に1位でバトンを渡せた」と語った。

計画的な行動を

前会長 高木風吹君(機3)

新旧の生徒会役員は3年生が進路活動で忙しい中でも中心として頑張っていた。2年生も3年生をサポートし積極的に動いていて良かった。本番までの新生徒会役員との打ち合わせが甘く、各々が仕事を理解できていなかった。次年度はスケジュール管理を徹底したほうが良い。計画的に行動するのは物事をうまく進める上で大切であると改めて実感した。新役員には、今年の生徒会行事よりも良くするためにしっかりと振り返りを行なってほしい。

連携が取れた

副会長 熊谷慶嗣君(機2)

旧役員から新役員になった人が3人しかいなかったのが不安だった。しかし、1年生が仕事を手伝ってくれたおかげでスムーズに進行できた。先生たちとの連携がしっかり取れたので運営をスムーズに進められた。役員だけでは仕事から分らない部分があり、生徒会顧問の福澤等先生や細田一輝先生に指示をもらった。これからの行事でなるべく先生方の助けを借りなくてもできるように、今回言われたことを生かして頑張りたい。

村泰輔部長(化2)は「特に走る練習はしなかったが、旭岳に登山をするイメージトレーニングをした。皆で頑張って完走できて良かった。来年はもう少しエンターテインメントの要素を追加して、山岳部らしい服装で全力で走りたい」と話した。演劇部は「ドラゴンキラーマークIII」という剣をバトンにした。福井一在君(情2)は「バトンが剣だったので、そのキャラを演じ切るために」

バトンを渡す練習に取り組んだ。あまり良い順位は取れなかったが、自分たちやリレーを見てくれる人たちが楽しめたので良かった。バトンは演劇で使っていた剣のパーツを外して作った。今年は去年と比べて演劇部らしくバトンを渡す際に小芝居をしたが、もっと色々なところで演劇部のアピールができるとも感じた。来年はそこを踏まえてもっと演技の上達したパフォーマンスを見せたい」と話した。